

第 36 回(令和 7 年度)手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)

「聞取り通訳試験」問題

第 1 問

【通訳場面の説明】

司法書士事務所に、ろう者が相談に来た場面です。相続の手続について司法書士がろう者に説明をします。

【問題文】

今日はお兄様の相続のご相談ですね。お悔やみ申し上げます。先日、メールでもお伝えしましたので、ある程度ご理解いただいているかと思います。お兄様には配偶者やお子さんがいらっしゃらず、直系のご親族、つまりご両親やおじいさま、おばあさまも他界されているとのことですので、兄弟相続になるものと思われま

す。必要な書類は相続人全員の戸籍謄本と住民票、印鑑証明書などが必要になりますので、こちらの資料をご確認ください。

相続税は、基礎控除内であれば税金はかかりませんが、基礎控除を超える場合、超えた金額に課税されます。兄弟相続ですと 1.2 倍の税額になります。

不動産や株がある場合は、例えば株であれば、相続人で株のまま分け合う方法もあります。ただし、全員が同じ証券会社に口座を開設する必要があります。また、売却して現金化し、相続人で分割する方法もあります。

他には、一人が相続して、その代価を他の相続人に支払う方法もありますが、受け取った側に贈与税が発生する場合がありますので、詳しくは税理士にご相談されるとよいかと思

第 2 問

【通訳場面の説明】

ろう者が健康水泳教室に参加している場面です。今日は「楽な泳ぎ方」について指導員が解説します。

【問題文】

ゆっくりゆったり楽に泳ぐということは、まず、誰かと競うのではなく、自分自身と向き合って泳ぐことが大切です。タイムを求めるのではなく、長く泳ぐことを意識してみましょう。

まず、クロールのフォームについて。バタ足は、みなさん膝を曲げてバシャバシャと水面を打つイメージがあるかもしれませんが、実際は、脚全体を使って、水面ギリギリでキックします。

クロールの脚と手の推進力の比率はどのくらいだと思いますか？脚より手の方が大きくて、1対9とも2対8とも言われています。つまり、脚は手の補助であって、沈んでしまいがちな下半身を浮かせるためにキックするんです。

特に、脚を下げる時よりも、重力に逆らって上にあげるときを意識すると、推進力が増します。さらに、水面下での蹴り幅は大き過ぎずに自分の足のサイズくらいで、少し内股で親指同士が触れ合うくらいのバタ足が理想とされています。水の抵抗が空気のおよそ 800 倍ということ考えると、かなり力が必要になりますね。